



一般社団法人
宮城県理学療法士会
ニュース 2023 No.1
(通巻171号)

目次

巻頭言	1
事務局 総務部 報告	7
第26回宮城県理学療法学会開催報告	9
第27回宮城県理学療法学会開催のお知らせ	13
E-nudge委員会 これまでの開催報告	14
～Column 2023 ①～	17
日本理学療法士協会協会賞受賞に寄せて	18
社会局からのお知らせ	19
宮城県理学療法士連盟 活動報告	25
～Column 2023 ②～	25

巻頭言

社会の潮流が変わる中での理学療法士

一社)宮城県理学療法士会
会長 渡邊好孝

変化し続ける社会の中で、理学療法士(PT)が広く深く社会から認知されるためには、倫理観に基づく貢献行動が必要になります。これまでのPTとしての能力に社会貢献に役立つ力を付加することでPTの存在意義を高めなければなりません。

そのためには、多様な業種・業界・職種と“共通理解”をもって長期的に協業することが条件になります。それぞれの独自能力と特性を活かし協力することで、新しい価値も生まれ、社会に変化を与えることができる存在になれると考えています。

【新しい時代のブランディング】

資本主義市場経済社会にあっては、独自能力(Brand)で目的(Vision)に向かうために戦略を設定し、目標達成のための戦術を設定し成長することは重要です。しかし、それによって一人勝ちしようと画策する時代は終わったのかもしれない。

新しい視点として、マルクス・ガブリエル氏(40歳代前半のドイツ人哲学者)の「倫理資本主義」にも注目してみましょう。これは、現代の効率性を重視した資本主義ではなく、経済活動のなかに精神性や倫理性を織り込んでいこうという考え方です。

多数の著書がありますが、“マルクス・ガブリエル 新時代に生きる「道徳哲学」”¹⁾が読みやすいかと思います。

近年、世界中のトップ企業は、「社会において、なぜ自分たちは存在しているのか、何のために存在するのか」のVisionの根幹を問い続け存在意義を確立しています。これは、企業価値を高めるための“パーパスブランディング(Purpose Branding)”と呼ばれるものです。VisionとPurposeはどちらも

“目的”という意味になりますが、例えば、Visionは企業や私がどうなりたいたいのかの一人称目的です。

一方、Purposeは三人称視点を包含しており、目的は、共領域で利害関係者(Stakeholder)と共にどのような社会をつくり、善いインパクトを与えるかです。

例えば、世界的な異常気象や社会問題に対しては、一人称視点では十分な価値提供はできませんし、社会における確固たる存在意義を示すことも難しい現実があります。

近年、Purpose Brandingが注目される背景には“コモディティ(commodity)化”が進んでいることが起因しています。

コモディティ化とは、市場投入時には高付加価値の製品やサービスと認識されていたものが、市場が活性化の結果、他社が参入しユーザーにとって機能や品質などで差がなくなってしまうことです。

仮に魅力ある機能を付加できたとしても他社が同様の機能をすぐに付加してしまい、機能差・品質差がなくなってしまうと、さらに

付加価値の高い商品を投入し続けなければ市場で勝ち残ることはできない状況になります。

またコモディティ化は、人材にも当てはまります。画一的で個性のない人材は“コモディティ人材”と呼ばれ、テクノロジーの進化により真っ先に AI に仕事を奪われることとなります。そうならないためにも、話題のスキルよりも次の時代に求められるスキルを先読みし、付加価値をつけることが重要。²⁾とされています。

参考までに、世界の TOYOTA の未来都市ウーブン・シティ(Woven City)構想を日本語版公式 Facebook³⁾から覗いてみてください。

「自分以外の誰かのために」創業時から変わらないこの想いが、今、モビリティカンパニーへの変革を目指すトヨタを動かす原点です。Woven City が目指すのはただの「街づくり」ではありません。

なぜ私たちが、Woven City という仕組み作りに挑戦しているのか。こちらの映像を通してご覧ください！！と記されています。

流石！“世界の TOYOTA”自社の存在理由を会社の内外に伝え、映像を通して共感の輪を広げていく手法は Purpose Branding と言えます。

【2025年以降の課題に向けて】

2000年の介護保険導入時より、医療・介護・福祉の一体的提供のための地域包括ケアシステムの深化と共生社会推進の役割をも担うようになりました。

「ポスト 2025 年の医療・介護提供体制の姿(案)」⁴⁾によれば、2040 年頃に高齢者人口がピークを迎えますが、医療・介護の複合的ニーズを有する高齢者数は高止まりとなると記されています。一方で、生産年

齢人口は急速に減少しますので、医療・介護・福祉に関わる人材不足も顕在化しております。

日本の未来に関することは内閣府・各省庁のホームページ(HP)にも掲載されており政策案や提案が示されています。一見すると自分とはかけ離れた世界のように見えるものがありますが、仕事の好機(Chance)も見えてきます。

Chance があっても自らが変化(Change)しなければ挑戦(Challenge)はできません。10年・20年・30年、さらに未来の姿とそれに向けての政策に強い関心を持っていただきたいと思っています。

例えば、2018年に厚生労働省は、「2040年を展望し、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現に向けて」⁵⁾は、多様な就労・年金制度の改革、健康寿命の延伸、医療・福祉サービスの改革などの取り組みを示しました。

また、2023年に自由民主党の「こども・若者」輝く未来実現会議において、公益社団法人日本理学療法士協会(JPTA)は、「『こども・若者』輝く未来の実現にむけて～理学療法士の視点から～」⁶⁾を提案しています。

JPTA は、PT は全世代に関わる理学療法を範囲としていること。健康増進、予防、治療/介入、リハビリテーションの領域において、生活(人生)の質や動きのポテンシャルを見極め、また最大化することに対して、PT は何ができるのかをその背景(役割)から提案しています。

PT の業態や働き方が多様化すること、キャリア開発・形成は怠らないこと、個人の価値観と照らし合わせ、自ら変化させること等を示唆しています。

【35年以上の歴史】

いよいよ団塊の世代が75歳を迎える社会が到来します。1989年の「高齢者保健福祉推進10か年戦略」通称ゴールドプランは、1994年に新ゴールドプラン、1999年にはゴールドプラン21と変化しながら、在宅介護支援センターが全国的に整備されました。

介護保険制度の見直しに伴い2005年には「地域包括支援センター」が整備され、高齢者やその家族が住まう身近な地域で専門職による高齢者の相談・援助の体制整備がされ、2025年までの課題に取り組みました。

2025年問題への取り組みは、実に35年以上の歴史があることが理解できます。

【首相官邸】

最近、マスメディアで高齢者について取り上げられることが少なくなった気がします。約35年前より2025年の未来を見越して逆算した取り組みが開始されていて、もうじき、社会で実践することになりますから、その先の未来を見越して、少子化問題や子育て世代の課題に政策が変化していくことは理解できます。

首相官邸HPでは、全ての人生きがいを感じられる社会の実現⁷⁾として、1)男女共同参画・女性の活躍 (2)孤独・孤立対策 (3)こども・子育て政策 (4)就職氷河期世代支援 (5)消費者保護が記され、分配戦略⁸⁾では、人への分配は、「コスト」ではなく、未来への「投資」です。官と民が、共に役割を果たすことで、成長の果実をしっかりと分配し、消費を喚起することで、次の成長につなげます。と述べられています。

宮城県理学療法士会(MPTA)の未来への投資は、「次世代の育成」です。その鍵

は“若い世代が大活躍できる組織体質にすること”だと思っております。

【PTと顧客市場】

全国のPTの平均年齢は約34歳、約4割が20歳代です。MPTAも同様です。MPTAはこれまで、宮城県内の地域包括ケアシステムや共生社会の一員として、また、全世代の健康を支える活動を通して信用を積み上げてきました。

市町村・町内の各種団体からの派遣依頼や関連職種との健康を支援する共同事業も増えてきております。供給に関しましては、時期や規模によっては人選や対応に追われることもあります。会員の皆様のご協力で何とか凌いでおります。

身近な地域課題の解決のためには、職業倫理や社会道徳、良識と寛容さを併せ持つベテラン世代とデジタルスキルを身に付けている若い世代が力を合わせることで、顧客市場の中で存在意義を発揮し永い需要に応えることができると考えます。そのために、MPTAはブロック局支部活動を推進しております。

一方で、PTの供給過多が懸念されていますが、新たな視点で顧客市場を見渡し、これまでの既成概念や固定観念に捉われない発想でPTの価値を投入し続ければ、需要は無限大にあると思っております。

なぜなら、人類のWell Beingの追求には終わりが無いからです。

MPTAブロック局支部活動等で、身近な会員同士が協力し合い、PTならではの貢献活動を展開してまいりましょう。若い世代が多いことがMPTAの強みです。この強みを活かすためには、職場の長が“仕事”に対する真のリーダーシップを発揮していた

だきたい。保身のための“管理業務”は、顧客市場の仕事ではないのです。

【SDGs と ESG】

世界に目を向ければ、“SDGs(持続可能な開発目標)”は 2030 年までに解決すべき地球規模の課題であり国際目標となります。2015 年に国連本部で開催された国連サミットで「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」⁹⁾に掲げられ、世界の加盟 193 ヶ国の全会一致で採択されています。

SDGs は未来の世代に素晴らしい世界を築くためのものですが、昨今の国際情勢を見ていますと、現状とのギャップがあり過ぎるという思いに駆られることもあります。ともあれ、国際的な目標が示されていますので、やるべきことを段階的に計画することは可能です。

さらに、“ESG 投資”も注目されています。ESG とは、環境(Environment)：環境問題への対応・社会(Social)：社会課題への対応・ガバナンス(Governance)：法令順守です。

近年の投資家は企業の業績や財務情報だけでは投資判断をせず、ESG への取り組みも考慮して投資先を判断するようになってきています。自社の取り組みを明確に伝えることで、ステークホルダーとの関係性を強化することが期待できます。¹⁰⁾

SDGs と ESG は、前述しました、首相官邸“未来への「投資」”や JPTA の「『こども・若者』輝く未来の実現にむけて ～理学療法士の視点から～」とも繋がります。これらの取り組みの意義と課題を理解することで、PT の活躍の場はさらに広がります。

例えば、新しい街づくり(スマートシティー)に関わる事業に企画の段階からPTが雇用される。労働者の心と身体の健康を支え安

全を守るための事業への参画・参入。などが考えられます。

【スピード感を持つこと】

現代社会はデジタル技術の凄まじい進化によってこれまでの日常を変化させています。思いつくだけでも、店舗でのセルフレジの増加、スマートフォンとアプリの連携・予約や決済などがあります。説明を聞いても理解できない、使い方が分からない、教えてくれる人がいない、間違いや詐欺が怖いなどから、現状に対処するのが精一杯で、使いこなすことを諦めている方も少なくないでしょう。

職場ではスピード感を持ってデジタル化に取り組みなければならない実情が沢山あります。未来はかつてほどゆっくりとは訪れないのが現実なのです。

【バックカスティング】

病気や障がいによって引き起こされた心身の制約からの解放を目指してきたリハビリテーション専門職(リハ職=PT・OT・ST)ですが、将来に向けては、保健・医療・介護・福祉に関するビジネスモデルの中で複合的で重層的な関わりが持てるように自らを進化させることが一義と考えます。

国家が描く未来予想図の中で、リハ職のそれぞれが存在意義を発揮できるように、“将来から逆算してプラスの目的を達成するための計画を立案し行動を開始すること”。つまり、“バックカスティング(Backcasting)”によって準備を怠らないように仕事を展開しなければなりません。変化の激しい現代にあっては特に、このBackcasting 思考で事業を展開することが求められています。

中長期的な国策や SDGsのように、未来における到達目標が定められている中であつても、そこから逆算して 10 年後、5 年後、来年にはどの程度のレベルに達しているかを自らが考え行動し、創出された価値を評価すること。今すべきことを見つけるといふ考え方もあります。

これまでのように過去から現在の延長線上にある未来の問題点や制約を捉えて排除しながら、未来に備える“フォアキャスティング (Forecasting)” 思考による問題解決策は難しくなってきました。

Backcasting については、参考：書籍、Web サイト、4)を参照ください。

【未来に向けて】

2040 年・2050 年の未来に向けて、PT のありたい姿や目標に近づくためには Backcasting 型の戦略策定をしなければなりません。

つまり、2040 年・2050 年の未来の曖昧な姿から逆算して計画を立てることです。現在の社会の環境制約を受け入れながらも 2025 年・2030 年の社会構造を仮定し、“今”何を成すべきかの戦略を策定し、速やかに行動することが大切になります。

生存戦略は時間と空間と人間に影響されます。時間は生成に余地を与えていますし、空間は存在に余地を与えています。そして人間とは、人と人との繋がりに適当な余地を持つことだと考えます。

PT のありたい姿の実現には、これらの“間”を意識し Purpose 目的を共有できる“仲間”と共に社会課題に取り組むことで、PT は社会的責任を果たす仕事ができます。

リハ職の多くは、公的な制度に規定された対価より報酬を得ています。そのためか、

競争社会で生き抜くという感性は極めて低い職種だと私は感じています。

現状が永遠ではありません。この先、PT の業態は多様化するでしょう。PT の未来に向けて、あなた自身の未来に向けての行動を開始してください。

【インパクトを与える一員となる】

PT の未来を窮屈にしないため、そして未来の構造に適応するための自由は自らの手で拵え続けなければなりません。

これまでは、どちらかというと PT は一人称視点で自分たちの理想を目指してきました。しかし、個の力だけでは社会に十分な影響 (Impact) を与えることは難しい現実があります。

“日本の未来のあるべき姿の創造”に関わるためには、行政・企業・NPO・地域自治体関係者な等の Stakeholder と共に、それぞれの知識や技術を持ち寄り、三人称視点にて社会課題の解決に向けた“集合的なインパクト (Collective impact)” を与えられる一員とならなければ大業は成せません。

PT が社会に果たせる責任の一翼を担うためには、Stakeholder の活動にも共感すること。そして PT らしさを発揮し Impact を与えるためには、他者からは、共に汗をかきながら協力し合える仲間と認められ信頼されることが必要です。このことによって、社会での PT 存在意義は高まります。

PT の“個”の目的 (Vision) から、PT が社会に果たすべき目的 (Purpose) に戦略を位置付けることが、リハ職の成長と発展の鍵になると考えています。

「皆さん！今の自分が存在する小さな社会構造に適応して、今に満足するだけでは

なく、自身とPTが繁栄し続けるための備と、 PTが自由に存在できる余地づくりを！
未来を先取りする挑戦をしましょう。」 会員の皆さんと共に行動してまいります。

社会が大きく変化しようとしている今だからこそ MPTA も進化しなければなりません。

参考：書籍、Web サイト

- 1) マルクス・ガブリエル：新時代に生きる「道徳哲学」：NHK出版，2021年2月
- 2) グロービス経営大学院：MBA用語集，コモディティ化
https://mba.globis.ac.jp/about_mba/glossary/detail-19715.html
- 3) Woven City：トヨタ自動車公式 Facebook，2023年7月21日 17:50
<https://www.facebook.com/WovenCity.JP/>
- 4) ポスト 2025 年の医療・介護提供体制の姿(案)
<https://www.mhlw.go.jp/content/12403550/001059091.pdf>
- 5) 2040 年を展望し、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現に向けて
<https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/000399751.pdf>
- 6) 「こども・若者」輝く未来の実現にむけて ～理学療法士の視点から～
https://www.japanpt.or.jp/info/asset/pdf/230213_jptanewsonline_compressed.pdf
- 7) 首相官邸 全ての人々が生きがいを感じられる社会の実現
https://www.kantei.go.jp/jp/headline/seisaku_kishida/ikigaisyakai.html
- 8) 首相官邸 分配戦略
https://www.kantei.go.jp/jp/headline/seisaku_kishida/bunpaisenryaku.html
- 9) 持続可能な開発のための 2030 アジェンダ/SDGs
<https://www.env.go.jp/earth/sdgs/index.html>
- 10) 広告朝日：パーパスブランディングとは？
<https://adv.asahi.com/marketing/purpose/14813618>

事務局 総務部 報告

【第14回定期総会開催報告】

～ ご協力ありがとうございました ～

事務局長 総務部 高橋 利幸
副会長 藤野 隆喜

令和5年5月29日(日)に第14回一般社団法人宮城県理学療法士会定期総会を開催することが出来ました。今年は新型コロナウイルス感染症が5類移行後初の開催となり、3年ぶりに東北文化学園大学にて対面形式の開催とさせて頂きました。

冒頭より会長から令和4年度活動総括として、各部局・支部・委員会についての報告が行われました。続いて各局長より令和4年度の活動報告および決算報告、令和5年度の事業計画および予算方向が行われました。

報告の中では、新型コロナウイルス感染症により十分な活動が行えなかった部局もありましたが、対面開催の活動・研修も増えており、徐々に従来の県士会活動が可能となってきている現状が報告されました。

当日の質疑応答では総会運営において①開催時間を十分確保できていないのではないか、②各種委員会活動についてももう少し詳細な報告が必要ではないか、とのご意見を頂きました。

①につきましては、新型コロナウイルスが5類に移行された時期ではありましたが、多くの医療従事者が集まる会議のため、限られた時間で開催とさせて頂きました。来年度以降においては感染状況を鑑みながら、通常開催が行えるよう準備してまいります。

②につきましては、理学療法士に求められる役割が広がっている中で、当会の中でも担当部署が増えている現状にあります。そのため、活動内容も多岐にわたるためその内容を伝えきれていない部分もございました。こちらも来年度より総会資料の見直しを行い、より活動内容が伝わりやすい内容へ変更していきたいと思っております。

最後に、今回の総会開催におきまして当日参加頂いた会員および委任状の送付にご協力いただいた会員の皆様に対し、心から感謝申し上げます。多忙な中でも、自らの意思を表明し、理学療法士会の運営に対する責任を果たすためにご協力頂きましてありがとうございました。

これにより、私たちの会は、多様な意見や視点を集約し、宮城県の理学療法士としての更なる発展を図るための具体的な議論を行うことができました。これからも皆様の声を反映した活動を推進して参ります。

【お知らせ 1】

定期総会における議決権電子行使プラットフォーム導入に関しまして

当会では会員数の増加に伴う総会資料の印刷・郵送費のコスト増、働き方改革による印刷・発送にかかる事務手続きに要する納期が増え続けています。これらの課題を解決する新たな方策として、議決権電子行使プラットフォーム導入を検討しております。法整備としましては、当会では令和2年度の第12回定期総会にて定款変更を行い、電磁的方法をもつての表決が行えるよう手続きを終えております。

また、令和4年度中の理事会でも電磁的方法での総会運営についての議題提出させて頂き、承認を頂いております。令和5年度の第15回定期総会で運用に対しての議題提出、令和6年度の第16回定期総会より導入開始を目指しております。

初年度の導入方法に関しましては、従来の書面による議決権行使に加え、新たにインターネットを利用した議決権行使の電子行使プラットフォームの導入を予定しており、運用がスムーズに行えるようでしたら翌年度より書面による議決権行使および総会資料作成は廃止とさせていただきます。

すでに日本理学療法士協会では会員管理システムと連動させた役員選挙での運用が開始されており、一般企業での株主総会等でも多く用いられております。そのため、身近に感じられる会員も増えてきていると思います。具体的な内容が決まりましたらホームページ等でお知らせいたしますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

【お知らせ 2】

インボイス制度により領収書の仕様が変わります (日本理学療法士協会より)

2023年10月から始まるインボイス制度開始に伴い、日本理学療法士協会よりお知らせです。

会員の皆様が会員管理システムのマイページから印刷可能な領収書につきまして、2023年9月1日より下記2点の変更が行われます。

①会員氏名の記載

これまで宛名については空欄で発行されておりましたが、2023年10月よりインボイス制度が開始されることに伴い、適格請求書に対応した領収書仕様とする必要があるため、請求時の会員氏名を記載されることになりました。

領収書送付のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃は協会運営についてご協力を賜り厚く感謝申し上げます。
さて、ご入金の確認がとれましたので、下記のとおり領収証をご送付致します。
宛名につきましては、ご届出先に準じて各自ご記入いただきますようお願いいたします。

敬具

取り取り

領 収 書

登録番号：一
2023年02月22日

理学 太郎 殿

★ 9,000

品 目 理学 太郎 (100000) 身分として

品名	数量	金額 (円)
2023年度士会年会費	1	9,000

②宛名変更時の申請

都道府県理学療法士会各位の代行徴収分(入会費・年会費およびセミナー費)も含め、領収書発行時に宛名の変更を必要とされる方は、下記日本理学療法士協会事務局へ申請願います。

2023年9月1日以前に請求および入金されたものも、9月以降に領収書発行した場合は宛名が印字されます。変更が必要な会員は、上記問い合わせ先へご依頼ください。

なお、印字される会員氏名は、請求時点の会員氏名となります。

問合せ先：(公社)日本理学療法士協会 事務局 経理課
TEL:03-6804-1421(平日 9:00~18:00) FAX:03-5843-1748 E-mail:billing-chg@japanpt.or.jp

第26回宮城県理学療法学会 開催報告

学術局長：鈴木博人

学術大会部部长：青木和人 副部长：五十嵐直樹

2023年2月5日(日)にハイブリッド形式にて第26回宮城県理学療法学会を開催いたしました。会員の皆様と久々に顔を合わせる対面の嬉しさもありましたが、さまざまな事情で会場には出向けない方へも十分に内容をご提供できたと思っております。

今大会では「Nudge -よりよく働いていくために-」をテーマに掲げ、教育講演、シンポジウムを企画いたしました。また、会員の皆様からは16の演題をご登録いただき、その内の10演題は症例報告であり、新生涯学習システムに合わせて「症例検討会」として実施いたしました。

昨年の第25回宮城県理学療法学会にて、ご発表いただいた方の中から、新人賞1名、大会奨励賞2名が選出され、第26回大会内で表彰式を実施いたしました。

ご講演いただきました講師の先生方、司会・座長の先生方に感謝いたします。

<講演一覧>

教育講演1:健康の大切さをわかっているのに実践しない人を動かすには?

【講師】竹林 正樹 氏 (青森大学・客員教授/青森県立保健大学客員研究員)

【司会】渡邊 好孝 氏 (医療法人社団光友会/宮城県理学療法士会・会長)

教育講演2:臨床における理学療法ガイドライン第2版の活用(脳卒中)

【講師】中谷 知生 氏 (宝塚リハビリテーション病院/日本神経理学療法学会理事)

【司会】関 崇志 氏 (広南病院)

シンポジウム 1:臨床の疑問を専門・認定理学療法士に問う -Consultation and Support-

【座長】村上 賢一 氏 (東北文化学園大学)

【講師】伊藤 光 氏 (仙台リハビリテーション病院):認定理学療法士(脊髄障害)

【講師】小宮山与一 氏 (東北保健医療専門学校):認定理学療法士(スポーツ)

シンポジウム 2:シームレスな卒前・卒後教育の実現に向けて

【座長】鈴木 誠 氏 (東北文化学園大学)

【講師】小野寺裕志 氏 (気仙沼訪問看護ステーション)

【講師】庄司 剛仁 氏 (石巻健育会病院)

シンポジウム 3:理学療法士の新たな働き方 -キャリアデザインの多様性-

【座長】石島 孝樹 氏 (株式会社ハートリア)

【講師】内野 翔太 氏 (株式会社リハサク):企業で活躍する理学療法士

【講師】町田陽一朗 氏 (あをによしリハビリ脳神経外科クリニック)

:保険外診療で活躍する理学療法士

【講師】阿部 功 氏 (総合南東北病院)

:臨床で勤務しながら予防分野で活躍する理学療法士

第25回宮城県理学療法学会 受賞者の皆様 『おめでとうございます』

【新人賞】

肩峰軌道解析による肩甲帯機能評価の開発 —固定方法の違いによる胸鎖関節部の変動量の比較—

この度は新人賞を頂き大変光栄に思います。

私は大学卒業後、すぐに大学院へ進学し研究法を学ぶことができました。

今回の研みなさんからは先生・先輩方から助言をいただきながら自身でデータ収集や解析を進め、なんとか発表に至るまで形となった私にとっては忘れられない成果であります。今回、発表した内容は「肩峰軌道解析による肩甲帯機能評価」における固定方法の選定についてです。既存の理学療法評価法だけでは肩甲帯動的評価は不十分であり肩機能を説明できない問題があります。そこで、新たな視点から不足点を補う肩甲帯機能評価法を考案し、その一端の結果を報告させていただきました。しかし、新規方法である故、先行研究や参考値が存在せず、実施方法やアウトカム選定、有用性検証などまだまだ分からないことがあるのが実情です。そのため、今後も本研究を継続的に取り組み、新たな肩甲帯機能評価を確立することで理学療法の発展に貢献できればと考えております。



千田 悠人 氏
東北文化学園大学
大学院

【大会奨励賞】

立ち上がり動作の指導における言語強化のタイミングに関する探索的研究 —理学療法士による離殿の指導に着目して(第1報)—

この度は、大会奨励賞に選出していただき、大変光栄に思います。

動作指導を行う際、適切な動作を短い声かけによって誘導することが多いです。この短い声かけを「言語強化」と呼びます。しかし、理学療法士の何気なく使用する言語強化が動作に及ぼす影響を検証した研究は皆無に等しい現状です。そこで今回、立ち上がり動作の殿部離床を促す言語強化を実際に記録し、理学療法士による声かけの特徴を検証しました。今回報告させていただいた、理学療法士の言語強化の特徴が動作に及ぼす影響について、今後も研究を進めていきたいと考えております。理学療法士の暗黙知を言語化すべく、これからも継続的に精進してまいります。



我妻 昂樹 氏
東北文化学園大学
医療福祉学部

最後に、日頃よりご指導くださっている先生方、研究に協力していただいている大学院生の皆様に心より御礼申し上げます。

【大会奨励賞】

慢性硬膜下血腫術後患者に早期歩行練習が与える影響について

この度は奨励賞を頂戴しまして大変光栄に思います。

今回の受賞に際しまして、沢山の皆様にご支援、ご協力賜りましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。慢性硬膜下血腫は予後良好な疾患とされていましたが、高齢化に伴い最近の研究では予後不良と結論付けるものも見受けられます。当院のデータでも本疾患を呈した80歳代の約3割、90歳代の約5割が自宅退院に至らなかったことが分かりました。転倒を機に発症することが多く、今後更なる高齢化や虚弱高齢者の増加により臨床での介入が多くなること予測されます。急性期での介入と生活機能を維持し、住み慣れた地域でいつまでも暮らして頂くための退院支援がより重要になってくるものと考えています。最後になりますが、今後も宮城県の理学療法発展のため学術的研鑽に励み、より多くの患者様、地域住民の方々に還元していけるよう精進して参ります。



植木 泰樹 氏
仙台東脳神経外科病院

第26回宮城県理学療法学会 『 発表しました ! 』 その感想

【学会での発表を通して】

この度は、第25回宮城県理学療法学会で発表させていただきありがとうございました。

今回、発表のきっかけとなったのは職場の先輩に「発表してみない？」とお誘いからでした。もちろん、新人の私にとって、発表は初めてであり、不安が大きかったですが、挑戦したい気持ちと、同僚や先輩のサポートもあり、無事に発表する事が出来ました。

症例報告を作成する中で、自分のしている治療を見つめ直すこと、指導者からのやり取りで新しい視点に気付かされたこと、文章作成や発表の構成などで相手にわかりやすく伝える方法等、とても良い経験になりました。作成から発表まで、援助していただいた同僚、先輩、会場でご意見を下さった先生方、聞いて頂いた先生方、何より今回協力して頂いた患者様に感謝を申し上げます。

今回の改善点を修正し、またこのような学会で発表できるように励みたいと思います。



長町病院
奥村 盟 氏

【学会での発表を通して】

今回は、在宅における呼吸器疾患を有する利用者様について症例報告をさせていただきました。当院の訪問リハビリでは担当ケアマネジャーや他のサービス事業所とのやり取りはあっても、リハビリスタッフとのやり取りは少ないため、今回のように直接ご意見をいただけたことは貴重な経験となりました。病院のように必要な検査を行ったり、その結果がすぐに手に入るわけでもなく、かかりつけ医との情報共有も簡単に行えるわけではないため、日々の臨床での介入方法や効果判定に悩むことが多々あります。学会発表では日々の臨床での疑問点に対して多くの視点から意見をいただける場だと思いますので、また機会があれば症例報告などチャレンジしていきたいと思います。私自身ハイブリッド形式での発表は初めてのこともあり、オンラインでの顔が見えないなかでの質疑応答には緊張もありました。次回は対面での交流が多くなったら嬉しく思います。



第27回宮城県理学療法学会 開催のお知らせ

準備委員長:栗村竜也

2023年2月4日(日)にハイブリッド形式にて第27回宮城県理学療法学会を開催いたします。今大会のテーマ「共創する理学療法士の躍動」。

本テーマに沿った三つの教育講演がすでに決定しております。シンポジウムを二つ新たに設定する予定です。

また、すでに一般演題の一次エントリーも開始しております！奮ってご参加ください！

第27回
宮城県理学療法学会
共創する理学療法士の躍動

大会長 渡邊好孝
(医療法人社団光友会、一般社団法人宮城県理学療法士会・会長)

会期 2024年2月4日(日)

会場 東北文化学園大学 + WEB

教育講演1:新しい介護予防・フレイル対策を共創する

【講師】山田 実 氏(筑波大学大学院人間総合科学学術院)

教育講演2:痛みに対する新しい評価・治療方法を共創する

【講師】今井 亮太 氏(大阪河崎リハビリテーション大学大学校)

教育講演3:糖尿病に対する新しい評価・治療方法を共創する

【講師】井垣 誠 氏(公立豊岡病院組合豊岡病院)

シンポジウム・・・計画中

一般演題申込

- 1次エントリー(基本情報登録) = 10月30日(月)17時まで
- 抄録提出 = 12月18日(月)17時まで



E-nudge 委員会 これまでの開催報告

E-nudge 委員会
委員長 水戸 奈津美
支援理事 鈴木 博人

私たち E-nudge(イーナッジ)委員会は「若手理学療法士活躍推進委員会」として発足し、今年度で活動4年目となりました。今年度もフルドライブで活動しております！！

令和5年度前期の活動一覧を、以下にご報告いたします。

※参加者の声は、事後アンケートより抜粋しております。

「新人 PT 歓迎会～新たな仲間とつながろう～」

日時: 令和5年4月28日(金)



先輩との距離感について悩んでいた
ので、どんどん行っていいということが
分かって良かったです。

先輩方のお話を聞いて、とても勉強
になりました。やはり、外部での関わり
もとても大事なのだと思いました。



令和5年度
新人PT歓迎会
～新たな仲間とつながろう～

- 日程 ▶ 4月28日 19:30～21:00
- 方法 ▶ オコライコ(zoom)
- 内容 ▶ 先輩PTが1年目でやるべき
ことをお伝えします！
- 参加費 ▶ 無料
- 対象 ▶ 宮城県内の新人理学療法士
※県士会入会の有無は問いません
- 申込方法 ▶ <https://forms.gle/RRiqkx5IBLwCVk6a6>
- 申込期限 ▶ 当日まで可

主催: 宮城県理学療法士会
運営: E-nudge委員会(若手理学療法士活躍推進委員会)

「新人・若手 PT 交流会+ミニ勉強会」

日時: 令和5年6月2日(金)

講師: 佐藤 衛 氏(まるめろナースステーション西多賀)

「1年目に知っておきたいエビデンスに基づく理学療法」



患者さまとの向き合い方について、
改めて考えるきっかけになりました。

アットホームな雰囲気、初めてお会
いする方と交流のきっかけを持つこ
とができて良かった。



ミニ勉強会
若手PT交流会
2023.6/2(金)

【時間】 19:00-21:00
第1部: 19:00-20:00
第2部: 20:00-21:00

【方法】 zoom

【参加費】 無料

【対象】 県内の理学療法士
(会員・非会員・世代問いません)

【申込】 右下QRコードから！
当日まで可能
飲食代として500円分の
QUOカードを送付します

第1部: ミニ勉強会
「1年目に知っておきたい
エビデンスに基づく理学療法」
講師: 佐藤 衛 氏
(まるめろナースステーション西多賀)

第2部: 新人・若手交流会
自由に飲食して、気軽に話しましょう！

主催: 宮城県理学療法士会
運営: E-nudge委員会
(若手理学療法士活躍推進委員会)

「認定・専門理学療法士に聞いてみよう」

日時：令和5年6月30日(金)

講師：

【脳卒中認定理学療法士】

芝崎 淳 氏(総合南東北病院)

【基礎理学療法専門理学療法士】

吉田 高幸 氏(松田病院)



学生時代の臨床実習で講師の先生にお世話になりました！先輩方のルーツから今後まで、想像以上に深く聞くことができ良かったです。

認定・専門理学療法士に聞いてみよう

日程 6月30日 19時30分～21時

方法 オンライン(zoom)

講師 芝崎 淳 氏 (総合南東北病院 脳卒中認定PT) 吉田 高幸 氏 (松田病院 基礎理学療法専門PT)

申込方法 <https://forms.gle/BVBeTWDfZzEBFRqF9> 申込は上記URLかQRコードにてお願いします

申込期限 当日まで申込可能

主催：宮城県理学療法士会

後援：E-nudge委員会(若手理学療法士活躍推進委員会)

参加費 無料

東北圏内県士会員 学生 一般 無料

申込費は登録時に point22 で1150円をお支払いください。

「スポーツ理学療法の実践と海外研究のあゆみ」

※国際交流・支援等委員会とのコラボ企画

日時：令和5年7月27日(木)

講師：石川 博明 氏(東北大学病院)



日々の仕事に対するモチベーションが高まりました！

堅苦しくなく、こういう形の勉強会も素敵だな、と思いました。



対面ならではの、講師の人柄や言葉の重みを感じることができました。

整形外科・スポーツ理学療法の実践と研究留学までの歩み

日程 7月27日(木) 19時30分～21時

方法 ハイブリッド方式
・ZOOM
・仙台市市民サポートセンター(研修室5)
仙台市青葉区一番町4丁目1-3

講師 石川 博明 氏 (博士:障害科学) 東北大学病院

申込 <https://onl.bz/S7KYxRD> 上記のURLかQRコードよりお申込みください！

当日まで申込可能

主催：宮城県理学療法士会 後援：国際交流・支援等委員会 x E-nudge委員会(若手理学療法士活躍推進委員会)

参加費 無料

東北圏内県士会員 一般 学生 無料

申込費は登録時に point22 で1150円をお支払いください。



写真1. 講義の様子



写真2. 会場のもみなでイイネ！👍

「リハ学生から先輩への相談会～理学療法士の声を聞こう～」

日時:令和5年8月18日(金)

〈事前・事後アンケートの比較〉

Q. 理学療法士として働くことが楽しみだと感じますか？

(回収率:事前 100%、事後 60%)

	事前	事後	
とても楽しみ	35.5%	→ 33.3%	▼
まあ楽しみ	45.2%	→ 57.1%	△
どちらとも言えない	9.7%	→ 9.5%	▼
あまり楽しみではない	9.7%	→ 0%	▼
全く楽しみではない	0%	→ 0%	—



＼宮城県理学療法士会公式 LINE アカウントのご案内／

会員の皆さまがリアルタイムで最新の情報を得られるよう、MPTA 研修や各種セミナー情報等を配信しております。

「宮城県理学療法士会」でも検索できますので、友だち登録がまだの方はぜひご登録ください！



公式 LINE アカウント



＼一緒に活動するメンバーを募集しています！／

E-nudge 委員会は現在 2～14 年目の 17 名で活動しています。

メンバーは随時募集しております！

ご興味のある方は、下記メールアドレスに「一緒にやってみたいです！」とお気軽にご連絡いただくか、右記 Google forms でご回答ください♪

※forms 回答後は、担当者よりご連絡させていただきます。

委員会メンバー登録



問い合わせ先 mpta.future.since2020@gmail.com

E-nudge 委員会 水戸 奈津美



～ Column 2023 ① ～

『リーダー(上司)の仕事』

優れたリーダー(上司)は、「人と人との間を繋ぐのが“間違いなく”上手」です。時間と空間と人間の“間”で“仲間”と互いの成長を支え合い喜び合える人です。

そして、仲間のために惜しみない(自己犠牲を厭わない。一肌脱いでくれる。)行動ができる人だと思います。“お世話好き”と“おせっかい”には境界線がありそうですが、面倒見の善い上司は仲間と成長しますし、孤独ではありません。

上司になることで、役職も給与も上がり立場も変わります。これまで仲間と思っていた友人からは嫉妬(Jealousy)されるかもしれません。これまで同様にとか、平等(Equality)と公平性(Equity)を意識した行いでも差別だと思われることもあります。

上司になった人、部下になった人が、“独りぼっち感”や“置いてきぼり感”を感じる現実(Reality)があってはお互いに辛いですね。

仲間を信用している上司の管理・監督・指示・命令は、考える余地や行動の余地を与えてくれます。信用し信頼されているお互いの結び付き(Engagement)があれば、自分が採用されていることが嬉しくさえ感じるのではないのでしょうか。そこには、いわゆる“やらされ感”、仕事に取り組む姿勢が義務的になり、主体性が欠如した感覚に陥ることはありません。

指示や命令は伝え方によって強制・脅迫と部下が感じてしまうことがあります。上司の言いなりにせざるを得ない状況になると

屈辱やハラスメントを受けたと捉えてしまうこともあるようです。

上司は Equality と Equity に気を付け、働く仲間の多様性(Diversity)を認め、一人ひとりの能力を発揮し活躍できる環境づくりをすることも仕事になります。

近年、欧米諸国では“帰属(Belonging)”が注目されています。これは、ありのままの自分を偽らずに組織の一員として居場所があると感じられる状態のことのようです。何かに帰属しているという感覚は人間にとっては必要なことなのです。

例えると“家族と過ごすストレスフリーの家”かもしれません。Engagement が大きい職場環境ほど個人と組織の成功は促進されるようです。その根底には“あなたがあなたらしく”という「相互に尊重しあう精神」や、“深い人間理解とそれに基づく愛”の交流があるのでしょうか。

Amy Edmondson(組織行動学)は、1999年に「心理的安全性(psychological safety)」という概念を提唱しました。これは「チームの他のメンバーが、自分の発言を恥じたり、拒絶したり、罰したりしないと確信できる状態」と定義しました。

また、2015年に Google 社は「生産性が高いチームは心理的安全性が高い」との研究結果を発表しており、心理的安全性を高めることで、個人や組織は効果的に成長するとしています。

ともあれ、職場には何らかの試練は必ずあります。能力を高めるために経験した試

練は職業人にとっては必要なことです。それを糧として知識や“業”が身に付き、人間力は高まると思います。

上司は部下の学びの機会を応援し参加できるように環境整備をしてください。そして、部下のライフステージに寄り添った支

援者であり続けてください。政治や経済にも関心を示し、良識あるディスカッションとタイムリーな行動を率先垂範してほしいと思います。

Yoshitaka.W

日本理学療法士協会 協会賞受賞に寄せて

一社)宮城県理学療法士会
副会長 榊 望

この度、本年6月の第52回日本理学療法士協会定時総会の席で、日本理学療法士協会・協会賞を拝領しました。

宮城県内の理学療法士協会会員がまだ150名程度であった1998年に、当時の組織部と学術誌部からお声がけいただいたのが士会活動の始まりでした。会員管理システムのような便利なツールが当時はまだなく、組織部では協会から発行される名簿～すぐ情報が古くなる～を元に県内各施設に手紙を送り、なるべく新しい情報で会員名簿を作成し発行する作業を行っていました。県外出身で、宮城県をよく知らない私にとっては、地名や県内施設を覚える良いトレーニングになり、この時の経験は今にも生きる財産となっています。創立30周年記念式典(1998年)では、大緊張の中接待した故石川誠先生が、どれだけご著名な先生であったか知らないほど、右も左もわからないまま祝賀会を担当しました。第39回全国理学療法学会(2004年)会場設営責任者や第27回東北理学療法学会(2009年)準備委員長の際には、周囲の皆様の“温かく多大な”ご支援で会を終えることが出来ました。本会で初めてのホームページ作成に携わることが出来たのも思い出の一つです。更新が遅い上にレイアウトにも不備が多く、多くの方にご迷惑をおかけいたしました。担当者も変わり今では当時と比べると素敵に、迅速な記事更新がなされていますので、是非お立ち寄りいただければと思います。

協会代議員は2006年からその役割を担っており、表彰状を頂戴した現齋藤会長まで、3名の会長の下で総会に参加しています。この間、協会の公益社団法人化や代議員の定数化(以前は各都道府県2名で固定、現在は会員数比例で宮城県は4名)、全国学会の分科学会化など、協会の会員数・会員のニーズや社会の変化への対応を見続けてきました。特に私達の仲間から国会議員が輩出されて以降、変化が大きくなっている印象を受けます。

新たな形態が提示された時というのは、違和感を覚え新しい体制の不備を指摘したくなるものですが、変革には根拠があるのも確かで、枠組の中でより成熟した運用を図るのも私達の役目ではと感ずることも少なくありません。

本会の一般社団法人化(2009年)から早いもので今年15年目を迎えます。社会の変化・PTの働き方の変化に対応し、また多くの若い会員に明るい未来が訪れるよう、宮城県理学療法士会も常に変化しています。皆さんには普段の職場の枠を超え、士会事業等を通して他施設のPTと顔を合わせることを強くお勧めします。この繋がりが、皆さんの大いなる成長の糧となり、PTが社会で必要とされ続けるための一歩となる筈です。PTの更なる発展に、微力ではありますが今後も尽力することを改めて決意し、ご挨拶といたします。今までお力添えを賜りました、会長をはじめ会員の皆様に心より御礼申し上げます。



社会局からのお知らせ

副会長 社会局長 阿部 功 (総合南東北病院)

社会局のスポーツ部、予防と健康づくり部から、活動報告と今後のボランティア募集のお知らせをします。宮城県理学療法士会として、地域や各種団体との協働や社会貢献活動を継続的に行っています。紹介した活動は次年度以降も参加する可能性がありますので、興味のある方はぜひそれぞれの部にお問い合わせください。

◇スポーツ部 活動報告

社会局スポーツ部
部長 千葉 渉 (松田病院)

スポーツ部では「東北身体障がい者選手権水泳競技大会」、「テイラー・アンダーソンカップ 2023 in 女川」、「国際車いすテニス大会 仙台オープン 2023」の支援活動を行いました。活動内容や、参加部員による活動報告をご紹介します。

【第28回 東北身体障がい者選手権水泳競技大会】

令和5年6月3日(土)から4日(日)、利府町のセントラルスポーツ宮城 G21 プールにて開催されました。MPTAからは3名の会員を派遣し、内容はクラス分け委員として参加選手の機能評価を実施しました。

報告：クラス分け研修、東北身体障がい者選手権水泳競技大会に参加して

高松 克成（松田病院）

私は3年目のPTです。もともと3歳から高校3年生まで水泳を習っており、競泳自由形の選手でした。大学の授業で、義肢装具や四肢切断を学んだ際に障がい者スポーツの存在を知り、細分化されたクラス分けのもと、競技を行うんだということくらいしか知りませんでした。臨床に出ても直接関わることはありませんでしたが、上司との何気ない会話の中で、宮城県内でも障がい者水泳競技大会が行われていることを知り、PTやOTが競技を行う上で、選手とどう関わりがあるのか興味が湧き、今回参加しました。

クラス分けは、公平なスポーツ競技を行うために、同じ能力を持つ選手をグループ化することを目的とし、水泳競技ではPT・OTは、フィジカルアセスメント(ベンチテスト)という身体評価を主に担当します。具体的にはROMやMMT、協調運動など、陸上で検査測定し評価します。

また、水泳経験の豊富な元選手やコーチが評価する、テクニカルアセスメントというものもあります。これは、フィジカルアセスメントとは違い、実際に水中での泳ぎや身体機能を評価し、推進力や安定性などを評価するため、ウォーターテストとも言われます。これらのアセスメントを実施のうえ競技に臨みますが、実際のレースでは、心理的

緊張や浮力や水温などにより、筋緊張や可動性が変化するため、フィジカルアセスメント時よりも水中でのパフォーマンスに変化が起こる選手が多く、選手の本来の能力を評価するため、競技中も観察します。

私はフィジカルアセスメントを担当しました。ROMやMMTは、普段から行なっていますが、協調性テストでは配点方法や着眼点の違いなどから、検査結果に対しての点数付けで、他スタッフと一致しないことが多くありました。一致しない場合は、お互いに話し合い意見交換を行います。ここでの点数が曖昧になると競技上での差となるため、慎重な話し合いとなりました。これ以上に話し合いが白熱したのはテクニカルアセスメントでした。私も競泳を行っていたため、評価に貢献できるのではないかと思っていましたが、競泳のルールだけでなく、水中での身体機能も評価しなければならないため、競技動作と身体機能の双方を評価することの難しさを痛感したと同時に、身体機能評価と動作分析を得意分野とするPTだからこそ活躍できるのではないかと感じました。

今回のクラス分け研修・障がい者水泳競技大会を通して、競泳はフィジカルアセスメント、テクニカルアセスメントの結果次第で、腕の欠損した選手と脚の欠損した選

手、脳性麻痺の選手が同じ種目を同じ組で競うこともあることは、他競技にはない魅力の一つだと感じました。それと同時に、同じ能力を持つ選手をグループ化することの難しさを感じました。また公平な競技を行う上

で陰ながらレースを支えるクラス分け委員の重要性を感じることができました。自分も経験し知っている競技であっても、これだけのことを感じるとても良い機会にもなりました。みなさんも是非参加してみてください。

【株式会社高速プレゼンツ 『テイラー・アンダーソンカップ 2023 in 女川』】

令和5年6月17日(土)、女川スタジアム(女川町)にて開催され、MPTA から1名の会員を派遣し、内容はスタジアム内にて、女子サッカーチーム専属フィジオとして、試合前のテーピング、試合中の応急手当、試合前後のコンディショニングを実施しました。

テイラー・アンダーソンさんとは

JET プログラムの英語指導助手(ALT)として石巻の万石浦小学校で勤務していた 2011年3月に、東日本大震災の津波で犠牲になりました(享年24歳)。ご両親は彼女が愛した石巻のためにと NPO「テイラー・アンダーソン基金」を設立し、子ども達が「夢を生きる」お手伝いする事業を積極的に助成しています。

テイラー・アンダーソンカップについて

- この大会は、テイラー・アンダーソンさんの名前を冠した女子サッカーの慈善試合です。
- ・東日本大震災の被災地である宮城県女川町の活性化および経済振興につなげる。
 - ・テイラー・アンダーソンさんを追悼し、震災を後世に伝承していく。
 - ・日本国内外の女子サッカー選手が夢を追えるよう支援する。
 - ・石巻市や女川町、東松島市の子ども達とサッカー選手が触れ合うことで健やかに子どもが成長する機会を創出する。

これらの企画意図の下、元なでしこジャパンなど海外・東北ゆかりの選手たち「チームテイラー」と、マイナビ仙台レディースユースが対戦しました。スペイン人選手 2名も参加しており、国際色の強い大会となりました。



テイラー・アンダーソンカップ 2023 の様子

【国際車いすテニス大会 仙台オープン 2023】

日程:令和5年8月31日(木)~9月3日(日)

場所:シェルコムせんたい、仙台市泉総合運動場(仙台市泉区)

内容:会場内フィジオルームにおいて、参加選手のコンディショニングおよびリコンディショニングの実施

大会スローガン「Let's fly to the sky!」の下、仙台から東北、さらには全国または世界へと車いすテニス仲間を広げることを目的とした大会です。宮城県理学療法士会では例年、フィジオルームを担当しています。大会終了後、活動内容は県士会ホームページ等に掲載いたします。

■仙台市介護予防月間ボランティア募集のお知らせ

社会局 予防と健康づくり部

部長 岩渕 隆俊 (介護老人保健施設せんだんの丘)

予防と健康づくり部では、毎年11月に開催される仙台市介護予防月間において仙台市シルバーセンターで行われるオープニングイベントと、市民センターとの共催イベントに協力をしています。

今年度も、予防と健康づくり部の部員と一緒に活動していただけるボランティアを募集します。地域に出て、普段は味わうことのできない経験を通してスキルアップの「場」として頂ければと思います。

～ お問い合わせ・申し込み先 ～

“予防と健康づくり部” 部長・岩渕 [E-mail: e.bouzu@gmail.com](mailto:e.bouzu@gmail.com)

申し込み件名:「 ボランティア申込 」

下記の①～⑤を記載し E-mail にてお申し込み下さい。

① 氏名 ② 希望日時・会場 ③ メールアドレス ④ 電話番号 ⑤ 所属施設名

申し込み後:ボランティア保険加入に必要な情報等を確認させていただきます。

ボランティア募集内容

日時	イベント名	会場	内容
R5年11月10日(金) 9:30~12:00	沖野市民センターとの共催事業	沖野市民センター (仙台市若林区沖野 7-34-43)	体操指導及び講座の補助
R5年11月12日(日) 9:00~15:00	仙台市介護予防月間独自催事 「元気力アップフェスティバル」	仙台市シルバーセンター (仙台市青葉区花京院 1-3-2)	フレイルに関連する体力測定、フィードバック及び体操指導
R5年11月16日(木) 13:00~15:00	榴ヶ岡市民センターとの共催事業	榴ヶ岡市民センター (仙台市宮城野区五輪 1-3-1)	体操指導及び講座の補助



元気力アップフェスティバルでの講座の様子



市民センターでの体操指導の様子

2023年度 研修会案内

副会長 学術局・教育局担当
村上 賢一

「一度でいいので読んでください」

2022年度より新生涯学習制度が開始し、徐々に制度の認知度が高まってきました。
宮城県理学療法士会では、すべての段階の研修を充実させています。登録理学療法士・認定理学療法士の取得および更新など、自身のステージにあった活動が可能です。

新制度の理解が進まずお困りの場合には、取り敢えずお問い合わせください
「<https://pt-miyagi.org/contact/>」。

必要に応じて、施設単位での説明・相談会も可能です。一定基準をクリアできれば、施設内研修会や症例報告会も生涯学習ポイント付与もできますよ。認定理学療法養成機関としての受講費も他と比べると安価で、日程的にも参加しやすい方法となる予定です。

【研修会情報】 * 10月以降(詳細はPT協会マイページで)

呼吸リハビリテーション研修会 (Web開催)

2023年10月21日(土)、22日(日) :会場 Web

身体運動学から捉えるバランス制御と理学療法アプローチ (ハイブリッド開催)

2023年11月5日(日) : 会場:東北文化学園大学

回復期における脳卒中患者に対するリハビリテーション(Web開催)

～急性期から回復期、回復期から生活期にかけて～

2023年11月11日(土) : 会場:Web

観察による運動・動作分析(臨床応用編) (ハイブリッド開催)

2023年11月25日(土)、26日(日) :会場:東北文化学園大学

地域理学療法の展開 (対面開催)

2024年1月14日(日) : 会場:仙台青葉学院短期大学長町キャンパス

身体活動に伴う呼吸循環応答 (ハイブリッド開催)

～運動負荷試験の見方が変わる～

2023年11月12日(日) : 会場:東北文化学園大学

【認定理学療法士養成機関】

** 締切 12月中旬(参加応募 <https://pt-miyagi.org/kyouiku/>)

脳卒中:2024年1～2月(予定)

運動器:2024年2月1日～2月29日

呼吸:2024年2月末～3月(予定)

宮城県理学療法士連盟 活動報告

宮城県理学療法士連盟
会長 羽田智大

いつも宮城県理学療法士連盟の活動にご理解とご協力頂きましてありがとうございます。私も参加しておりました日本理学療法士連盟組織代表選考委員会の決定のとおり、去る5月23日、日本理学療法士連盟 都道府県会長会において、理学療法士 参議院議員の田中まさし氏を時期参議院議員通常選挙(比例代表)の組織内候補予定者として正式に決定いたしました。

また、繰り上げ当選後の田中まさし氏の活動ですが、リハビリテーションを考える議員連盟からの申し入れを23名の議連の先生方と一緒に5月30日までの間、行いました。リハビリテーションに関する小委員会の提言(要望書)を加藤勝信厚生労働大臣・萩生田光一自民党政務調査会長に、リハビリテーションを考える議員連盟の決議(要望書)を鈴木俊一財務大臣・加藤勝信厚生労働大臣・小倉将信少子化対策担当大臣に提出いたしました。

その結果、自民党の政務調査会全体会議、総務会を経て、6月16日、いわゆる骨太方針が閣議決定し、「リハビリテーション」の文言が本年度も明文化されたのです。この骨太の方針に明記されることで年末の予算編成に向けて議論ができることとなります。骨太方針に明記されることは予算の根拠を得ていくうえで非常に重要でした。このように、一人の力だけでなく、多くの議員とのチームリハビリテーション・ネットワークを広げる活動によって私たちの生活も変わり始めています。

～ Column 2023 ② ～

『 Smart 行動をしましょう 』

【民主主義はどうか？】

令和5年(2023年)7月30日執行の仙台市議会議員一般選挙結果は、投票率34.30%で過去最低となりました。

昭和26年(1951年)は80.91%、昭和50年(1975年)までは60%台。50%を下回るようになったのは、平成15年(2003年)の47.58%です。20年の間に13.28ポイント下がったこととなります。

この背景には何があるのでしょうか。

これは今回の選挙に限りませんが、特に若年層は、政治への関心が低く、自分の持つ一票の価値を軽んじ、政治家や政策決定に与える力への過小評価(自分の一票ぐらいで結果は変わらない感覚)をしているとも考えられます。

そこで、世の中を見てみると、例えば、接客サービス業は客層を見て、客層に合った接客サービス(顧客から人気があり好評を得ることができるサービス)を提供しています。

それと同様に、政治家は選挙で投票する人を見て、政策を決める面もあります。

つまり、若年層は選挙に行かないこと、つまり黙っているから損をする現実があります。ですから、若年層が選挙に行くことで、政治家に「若年層向けの政策も用意しなきゃいけないな！」と思ってもらえることもできるのです。

また、年齢層だけでは無く、同じ職業の者が組織する団体(職業団体・職能団体・業界団体)の一つとして、私たち理学療法士を主とする団体(理学療法士連盟)があります。組織として支援する政治家を全力で応援し、選挙に積極的に行くことによって、その政治家は「全力で応援してくれて、沢山の投票をしてくれる理学療法士向けの政策も用意しなくちゃいけないな！」と思ってくれるものです。

もちろん、一朝一夕に速やかに理学療法士一人ひとりに還元されるものではありませんが、理学療法士やリハビリテーションに関心のある議員(議員連盟)が増える

ことで変化は確実に起こります。そうすれば、いずれ必ず私たち理学療法士の一人ひとりに還元されます。

【賢い人の民主主義】

宮城県議会議員選挙の投票日は令和5年10月22日です。

当然のことですが、国のことは国会議員が、そして宮城県のことは県議会議員。そして市町村は市町村議会議員のことになります。

私たちにとって身近な地域の問題は、地域から県、県から国に届く仕組みが一般的です。

地域住民からの要望や地域の住民の実情を丁寧に汲み取り、地域を活性化し、住民の暮らしに影響する問題を解決していくのも、地域密着の政治家の役割です。私たちの日常に、政治は直結しているのです。

宮城県議会議員と宮城県理学療法士会の『対話』の機会が増えたことで、理学療法士に対する理解も深まり広がりました。これからの社会に必要不可欠な人財として認知され期待もされています。

それぞれの候補者が、取り組もうとしていること、プロフィールなどを参考にされ、私たちの未来のために、『宮城県理学療法士会と宮城県議会議員が宮城県をもっと善くする！！』そのような思いで投票に行きましょう。

愚かな人の観客民主主義とならないよう、Smart 行動をしましょう。

Yoshitaka.W

FAXニュース配信について

◇広報部では研修会などのご案内を GIMP ニュースとして会員各施設に FAX で配信しております。

現在 FAX が届いていない施設や登録番号が変更された施設の代表者の方はお手数ですが、下記までご連絡頂きますようご案内申し上げます。

また代表者(宛名)が変わられた施設もご連絡頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

県士会ニュースおよびホームページへの掲載依頼について

県士会ニュースと県士会ホームページへ掲載を依頼される場合は、広報部までご連絡ください。原稿は、WORDまたはテキスト形式を基本とします。PDFファイルへも対応は可能ですが、適切に印刷(掲示)されない場合があります。また掲載が適切ではないと判断された場合には、ご意向に添いかねることもありますのでご了承ください。

またご不明な点やご希望等ございましたら、下記までご連絡ください。

宮城県理学療法士会ニュースは県士会ホームページにてカラーで公開されています!!
是非ご覧ください。

宮城県理学療法士会 広報部

宛 先: 〒981-3341 富谷市成田1丁目3-1

仙台リハビリテーション病院 リハビリテーション部 佐々木友也

TEL : 022-351-8118 FAX : 022-351-8126

E-mail: news.edit@pt-miyagi.org

次号県士会ニュース締切: **2024年1月15日まで**

発行日: 2023年9月25日
発行: 一般社団法人宮城県理学療法士会
代表者: 渡邊 好孝
編集: 佐々木友也
印刷: 合同会社P・プロGRESS
〒983-0021 仙台市宮城野区田子2-33-17

